

ニューズレター 2016 年度第 3 号

日本音楽表現学会 2017 年 3 月 31 日発行

| | | |
|--|-------|------|
| 【巻頭言】先達の熱き心を受け継いで—確実なマニュアル作成を | 豊田 典子 | p. 2 |
| 【随想】「沖縄の、三線が危機的だ」って?! | 小西 潤子 | p. 3 |
| 日本音楽表現学会第 15 回 (クロッシング) 大会のご案内 | 岡田 敦子 | p. 4 |
| ご案内、実行委員会組織、大会日程と会場、プログラム概要と発表者氏名 宿泊、参加費、懇親会、参加申込、送金先、申込〆切、会場へのアクセス等 | | |
| 新入会員紹介 | | p. 8 |
| 日本音楽表現学会後援コンサート等情報 | | p. 9 |
| 会員による CD リリース | | p.10 |
| 会員による新刊 | | p.11 |
| 『音楽表現学』Vol.15 原稿募集 | | p.12 |
| 「日本学術振興会賞」の推薦について | | p.13 |
| 事務局からの重要なお願い | | p.13 |
| 年会費の納入について 住所・所属・電話番号・メールアドレスの変更は速やかにお届けください！ 学会発表や原稿応募には学会員資格と当該年度の年会費納入が必須条件です。他 | | |
| 事務局からのお知らせ | | p.14 |
| ニューズレターへの投稿について 学会の会員サポート制度をご活用下さい。 『音楽表現学』バックナンバー購入方法について、他 | | |
| 【各種書式】 | | p.15 |
| 日本音楽表現学会第 15 回 (クロッシング) 大会へのご案内 | | p.16 |
| 2016 年度役員・委員等一覧 | | p.16 |
| 編集後記 | | p.16 |

日本音楽表現学会



所在地：〒 616-8025 京都市右京区花園土堂町 1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費：5,000 円

振込先：郵便振込口座 01370=6=78225 日本音楽表現学会

先達の熱き心を受け継いで—確実なマニュアル作成を

とよだ ふみこ (ソプラノ・音楽教育／理事・事務局長)

本学会が発足して15年目の春です。思い返せば、高等学校の一音楽教員が、縁あって短期大学に異動して3年目、ふと目にした新学会発足の呼びかけに、何か新しいことが始まる予感を感じて、2003年5月広島で開催された設立記念大会に参加いたしました。

日々の授業と生徒指導に追われ、許される範囲で演奏活動を継続することで精いっぱいであった私に突然舞い降りてきた大学教員というポジション。少なからず居心地の悪さを感じておりました時、「これからは演奏だけでなく、勇気を出してどンドン書かないといけませんよ」と初代会長が声をかけて下さいました。こんなに人に優しく温かい学会はない!と、以来、欠かすことなく大会に参加してきました。毎年、意欲的な研究発表に刺激を受け、素晴らしい方々との出会いがあり、ご縁が広がり、わたくし自身の研究活動の幅も少し広がったように思います。大会中の懇親会への参加率の高さをみれば、皆様が、いかに年に一度のお出合いを大切にされ、大会への参加を楽しみにされているのかがわかりましよう。

近年の大学を取り巻く環境はますます厳しく、教育・研究以外の仕事が押し寄せ、年々多忙を極めております。しかし、「朋あり遠方より来る、また楽しからずや」年にたった一度しかお目にかかれない方々と近況を語り合い、ひと時お酒を酌み交わし、新しい研究や演奏についてのお話ができることの幸せ。何にも代えがたい貴重な時間だと感じておりますのは、わたくしだけではないと思います。

いつの間にか古参会員のグループにおいて、今年度は敏腕の奥事務局長のお仕事を受け継ぎ、新体制の理事会で事務局長の任を承っております。新理事会が発足して、早半年が経とうとしています。懐の深い後藤会長の元、今期の理事会が為すべきことは、今後何方が引き継がれても、お仕事がしやすい環境を整え、マニュアルを作成することと考えます。

発足当時103名だった会員は、3月3日現在529名となり、会員同士がいつお会いしてもお顔と名前が合致できる規模ではなくなりました。京都大学総長の山極寿一氏は、人間の脳サイズに適した集団のサイズは、160人程度あると述べておいでです。大きくなった会の運営には、より細かなルールが必要となり、様々な事柄に的確に対応できる運営方法の確立が求められるようになりました。2014年より会長以下理事が8人体制となり、昨年はデザイン室も新設されました。

今後は、本会ならではの、人と人との温かい繋がりを大切にしながら、この会の未来を見据えつつ、運営に関わる膨大なお仕事を、正確に丁寧に行うためのマニュアルを整備して参りたいと思います。大きなことはできませんが、「先達の熱き心を受け継いで」微力なわたくしでも、このような形で、優しく温かく、そして意欲的なこの会に尽くすことができますれば、今まで支え、励ましてくださった先輩方への御恩返しと考えます。心して、この2年間を務めさせていただく所存です。

最後になりましたが、今年度大会のご案内を。今年、東京音楽大学で、ベテランの加藤富美子氏が、理事として大会運営に関わってくださいます。「沖縄は遠い……北海道も遠い……」とこの2年間参加を見送られた皆様方、さあ、今年こそ、日本のど真ん中、音楽表現の交差点、クロッシング大会に集い、研究の成果をご披露ください。そして、懇親会で大いに語らい、この会ならではの親交を深めてください。新理事会の初仕事、どうか今後ともお支え下さいますよう、お願い申し上げます。



「沖縄の、三線が危機的だ」って？！

こにし じゅんこ
小西 潤子（民族音楽学／副会長）

沖縄音楽といえば、三線。民謡酒場でも、観光地のBCMでも欠かせない。いまでは、沖縄県外でも三線を配備する学校がある。沖縄音楽も三線も、とても元気に見える。それなのに、「沖縄の、三線が危機的だ」とは、どういうことなのだろうか。

三線は、14世紀頃中国大陸からもたらされた外来の楽器である。「蛇皮線」という別称があるように、胴体にはビルマニシキヘビなど高価な輸入品の蛇皮を張る。琉球王朝時代には、上流士族やジュリと呼ばれた芸者のみが奏でる高貴な楽器であった。18世紀末、士族の遺言状には「三線を秘蔵して子孫に伝えるように」と記されていたように、三線はお家の財産であった。三線が庶民の手に広まったのは、琉球王国解体を経た20世紀以降である。そして、戦中、戦後の混乱期を乗り越えて伝えられた良い音のする三線の名器は「開鐘（けいじょう）」と呼ばれ、沖縄の人々のプライドとアイデンティティを表象する。

楽器の構造からは、胴や皮の張り具合も音作りに欠かせないことがわかるが、沖縄では「三線の響きは棹の良さで決まる」という考えが広まっている。それは、棹の素材となる「黒木（くるち）」（黒檀）が貴重であることによるのかも知れない。黒木は、棹に加工できるまで成長するのに、なんと100年もかかる。沖縄県三線製作事業協同組合・仲嶺幹事務局長によると、100年以上の黒木であっても、木の細胞が死んでいるものは使えない。しかも、100本に1本くらいしか良い素材に巡り合わないともいう。上質の黒木ほど固いため、加工に時間がかかる。長時間かけて加工した棹には、50回以上も漆を塗る。手間暇かけた三線が家宝として床の間に飾られるに値することが、納得できる。

危機的なのは、黒木と三線職人なのである。離島も含めて、沖縄県内では棹になりうる黒木はほぼ採りつくされており、現在では東南アジアからの輸入に頼っているという。「もともと輸入品だったのだから、材料の輸入は問題ない」というわけにはいかない。三線の製作技術も、どんどん海外に流出しているの

である。インターネットでは、「楽譜から小道具すべて20点合わせて2万円！」など、破格の三線が販売されている。そうした楽器は、ベトナムなどの海外産である。

製作数×製作日数＝三線職人の収入、と単純に試算してみよう。1挺の三線を作るのに30日かけると、それが1か月すべての収入になる。28日で7挺作るとすれば、1挺あたりを4日で仕上げることになる。沖縄県内で三線職人として生活していくことの難しさがわかるであろう。若手が技を磨くためには、ほどほどのお値段の三線が、ほどほどの数の人手に渡ることが望ましいのである。廉価版の出現によって、多くの人々の手に三線が渡るようになったこと自体は、沖縄音楽の普及にとって必ずしも悪いことではない。だが、製造の中心拠点が海外に移ることで、製作技術が継承されにくくなっているのである。

この現状に対して、2012年、県内産の黒木の再生を促そうというプロジェクトが立ち上がった。読谷村に黒木の苗木を植樹し、100年先の沖縄のウタと三線を支えようという、「くるちの杜100年プロジェクト」である。呼びかけ人の1人は、《鳥唄》（The Boom）を大ヒットさせた宮沢和史さんである。宮沢さんには、自らが沖縄音楽を広めて三線ブームを起こしたことの功罪を償いたい、という思いがあるという。

これから生まれる子どもたちが100歳になったときに、ようやく三線の棹となる木を植えるというのだから、気の遠くなるような話ではある。しかし、私たちができるのは、こうした地道な努力しかない。一方、仲嶺さんたちは組合を作ることで、沖縄県産の三線のブランド化をはかろうとしている。くるちの杜100年プロジェクトや組合の活動には、本学会の比嘉康春会員ら三線演奏家も賛同している。2015年の美ら島大会から、早2年が経とうとしている。三線の音を耳にしたときに、沖縄の三線の現状とその未来を支える人々のことを思い出していただけたらうれしく思う。

日本音楽表現学会 第15回（クロッシング）大会のご案内

クロッシング大会へのお誘い

日本音楽表現学会会長 後藤 丹^{まこと}

第15回大会は久々の首都圏での開催です。会場としてお借りする東京音楽大学A館は、まるで音楽の構造をそのまま設計図にしたかのような美しい建造物であり、密度の高い大会を予感させてくれます。

基調講演を東京藝術大学の小鍛治邦隆さんをお願いしたほか、東京音大博士後期課程の教員・院生の皆さんによるレクチャーコンサート、8つの専門分野に分かれて自由に話し合う「サロン」、50にのぼる多種多様な研究発表やワークショップ等が用意されます。

また、初日夜に催される懇親会は、各地から集まる会員と親しく語り合うことができる、年に一度のチャンスとなるでしょう。

6月17日、18日は、東京に集合しましょう。きっと、音楽表現についての新しいヒントに巡り会えるはずです。

クロッシングな町のクロッシングな大学で 演奏*表現*教育*研究のクロッシング

クロッシング大会実行委員長 岡田敦子

今年は東京池袋の東京音楽大学で全国大会を開催致します。洗練された街とは言えない池袋ですが、いまや東京でもっとも外国人を惹きつけるエリアだそうです。その雑踏から徒歩15分ほど、東京音大近辺は、戦災にも遇わず、湾曲する細い路地が残り、寺や神社や墓地が点在しています。夏目漱石、武久夢二、はてはジョン万次郎まで眠る雑司ヶ谷墓地もすぐ近くです。

多様な人々、今と昔、そして東京音大は「実学とアカデミズムの融合」を校風としています。クロッシングな町のクロッシングな大学で、演奏、表現、教育、研究がクロッシングする2日間を堪能していただければと、実行委員会一同、皆さまのご到来をお待ちしております。

1) 大会実行委員会組織（敬称略）：

実行委員長：岡田 敦子 事務局長：加藤富美子 事務局長補佐：増田 久未（非会員 M2）
委員（会計）：山本 澄奈 （渉外）：小森 輝彦、嶋田 由美
（広報）：菊池麻利絵（非会員 D2）、岡田 敦子 （会場機器）：福田 裕美（非会員・教員）

2) 大会日程と会場：

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|----------|-------|-------------------|-----------|------------|-----------|-------|-----------|-------|-------------------|-------|-------|
| 17日（上） | | | | | | | | | | | | | |
| 10:00 | 12:20 | 13:00 | 13:15 | 13:20 | 14:05 | 14:10 | 15:40 | 16:00 | 17:00 | 17:10 | 18:40 | 19:00 | 21:00 |
| 準備：理事会 実行委員 編集委員会 | 受付 | 開会式 | 基調講演 | | | レクチャーコンサート | 総会 | | サロン | | 懇親会 | | |
| | ロビー | 2F ホール | | | | | | 各室 | | 学生食堂 | | | |
| 18日（日） | | | | | | | | | | | | | |
| 9:00 | 9:15 | 10:45 | | 11:00 | 12:30 | | 13:30 | 15:00 | | 15:15 | 16:45 | 18:00 | |
| 受付 | 分科会IA～G | 分科会IIA～G | | 昼食 学生食堂 話し場 | 分科会IIIA～G | | 分科会IIIA～G | | 分科会IIIA～G | | 撤収： 理事 実行委員 | | |
| ロビー | 各分科会室 | 各分科会室 | | | 各分科会室 | | 各分科会室 | | 各分科会室 | | | | |

3) プログラム概要と発表者等氏名（敬称略）：

ファンファーレ

基調講演：小鍛治邦隆 東京藝術大学教授 「バッハの作曲技法伝習～息子たちへの教育」

レクチャーコンサート：「クロッシングによる演奏研究の可能性—ヴィブラートをめぐって—」（仮）

出演：津堅直弘（Tp.） 小森輝彦（Vo.） 村田千尋（音楽学）

東京音楽大学博士後期課程：菊池麻利絵（Sax.） 田代 櫻（Vc.） 仲田みずほ（Pf.）

淵上ラファエル広志（尺八） 溝口 茜（Vo.） 山本澄奈（Vo.）

司会：岡田敦子（Pf.）

サロン:この時間帯はすべて「サロン」となります。サロンでは専門や関心を同じくする会員が集まり、共通の話題・テーマについて話し合います。当日会員、地域の音楽家も交えてサロンらしいディスカッションが行われます。詳細は『大会要項』でお知らせします。

- ・作曲のサロン ・指揮のサロン ・声のサロン ・ソルフェージュのサロン
- ・ピアノのサロン ・管弦打楽器のサロン ・日本音楽のサロン ・音楽表現と社会のサロン

研究発表・共同研究・ワークショップ等 (CS:共同研究 PP:研究発表 WS:ワークショップ)

時間帯 司会者 発表種 発表者 タイトル

A 分科会室

- I 渡部 成哉 CS 安藤政輝・鶴澤友球・安藤球希
三味線の音色表現 (2)—地歌から長唄・義太夫—
- II 伊野 義博 WS 柳 憲一郎 ネパールの伝統楽器を体験—知られざる音楽の魅力に迫る— (仮)
- III 豊田 典子・木下 千代・兼重 直文・木下 千代・北山 敦康・高旗 健次・鶴澤 友球
学会企画統一テーマパネルディスカッション
音楽表現における伝統と継承 —お稽古・レッスンにおける伝統と継承
- IV 菅 道子 WS 奥 忍 能は面白い (その2)

B 分科会室

- I 深井 尚子 ① PP 佐藤 容子 カール・チェルニーの指導理念—階段を登るような独特な教授法—
② PP 兼重 直文 ヒートマップと動作追尾による ピアノ演奏基礎能力に関する研究 (中間報告)
- II 大場 文恵 ① PP 中畑 淳 ピアノ伴奏における、音楽要素を中心とした作品解釈とその指導 (仮)
② PP 新海 節 歌唱におけるピアノ伴奏法に関する一考察 II
—伴奏ピアニストとアマチュアピアニストのダイナミクスの比較—
- III 水戸 博道 ① CS 渚智佳、酒井勇也、馬田一郎、熊坂好孝
児童の楽曲創作プロセスの傾向分析
② PP 小畑 郁男 ロックン・ロールの音高構造分析モデル
- IV 滝田 善子 ① PP 瀧戸 彩花 「模倣」と「変形」の再考—
ポピュラー音楽におけるカバー音楽とコピー音楽の比較検討を通して—
② PP 田中 宏明 教員養成系大学におけるソルフェージュ授業から得られるバッハの2声イヴェン
ションの演奏効果について

C 分科会室

- I 上山 典子 ① PP 昴山 陽子 《メサイア》におけるヘンデルの歌詞の扱い—音節数が変化する語に着目して—
② PP 三島 郁 18世紀～19世紀の「ゲネラルバス」概念の変遷
- II 齊藤 武 ① PP 大内 邦靖 初期バロック期におけるトロンボーンのための独奏的作品の演奏表現
② PP 原 久美子 ショパンの《24の前奏曲》作品28にみられる旋法的偏向
- III 加藤あや子 ① PP 谷 真子 シューマンの幻想曲 Op.17 についての研究
② PP 安田 香 続・戦時下のドビュッシー
- IV 小野 亮祐 ① PP 中島 直己 楽譜の異同と書かれた音符の蓋然性について
—デュラン新版のドビュッシーのピアノ曲を中心に—
② pp 木村 貴紀 音楽に対する批評的なアプローチとは (仮題)

D 分科会室 (3階A 301)

- I 久保田葉子 ① PP 櫻井 知子 保育者志望学生の音楽聴取傾向と弾き歌いの関連性について
② PP 内山 尚美 保育者養成校における音楽表現活動の取り組み
—「合唱パフォーマンス」の上演を通して—
- II 鈴木慎一郎 ① PP 松井 典子 身体表現と音楽表現の融合を目指して
—保育者養成校における「総合表現」の演習授業を通して—

- ② PP 高橋 美帆 子どもの音楽表現を促す保育者の支援のあり方について
- Ⅲ井上 朋子 ① PP 吉田 直子 「色々な聴き方に導くことー「拍」と「フレーズ」を視点にー (仮)
- ② PP 佐野 仁美・岡林典子
オノマトペを用いたリズム創作の可能性ー幼小接続の視点からー
- Ⅳ曾田 祐司 ① PP 尾見 敦子 幼稚園・小学校の教育内容としてのわらべうたの教育的意義
ー音楽家と学校・園、わらべうたと日本音楽、幼稚園と小学校の音楽教育を「繋ぐ」実践を通してー
- ② PP 飯村 諭吉 小中音楽教科書にみるリズム楽器の演奏技法と史的変遷
ー各楽器の指導項目を視点としてー

E 分科会室

- I 酒匂 淳 ① PP 鈴木亜矢子 山田耕筰の日本歌曲ーアクセント理論を起点とした分析的研究ー
- ② PP 澤田まゆみ 山田耕筰のピアノ曲《子供とおったん》の演奏についてー初版譜を基にした試みー
- II大竹 典子 ① PP 竜崎 瑠子 三善晃の「自己」と「世界」の関わりにおける「無」の意識
ーエッセイと対談の分析を中心としてー
- ② PP 三枝木宏行 三善晃「レクイエム」原テキストの検証
- Ⅲ中村 隆夫 ① PP 阿部亮太郎 「武満徹《地平線のドーリア》にはドミナントがある」という三善晃の指摘の意味
- ② PP 村尾 忠廣 <半月>ーその社会的背景を踏まえた訳詩と編曲
- Ⅳ寺内 大輔 CS 久次米祐江・高久新吾
E・サティ作曲《ヴェクサシオン》の演奏についての実践的提案

F 分科会室

- I 稲木 真司 ① PP 山下真由美 宮城道雄の「童曲」・「歌曲」の表現とその世界
ー音楽と映像による表現の試みを通してー (仮)
- ② PP 宮田 知絵 日本の文化と伝統ー同一主題の唱歌と童謡を例としてー
- II徳永 崇 ① PP 松山 七織 <君が代> 転調の謎ー忝越調律旋説に対するいくつかの疑問ー
- ② PP 亢 若桐 中国の社会芸術グレード試験の役割ー中国の古箏を事例としてー
- Ⅲ竹内 直 ① PP 石井 玲子 フレデリック・ジェフスキー「不屈の民変奏曲」の楽曲分析と演奏解釈
- ② PP 伊藤 憲孝 酒井健治：エチュード第3番 Scanning Beethoven における異化の技法 (仮)
- Ⅳ永岡 都 ① PP 杉江 淑子 国際移動と音楽文化ー日系ニューカマー第一世代の音楽経験にみるー (仮)
- ② PP 熊谷 綾子 唱歌教育と合唱ー概念とその変遷ー

G 分科会室

- I 舟橋三十子 ① PP 大木 美穂 音楽家のためのメンタルトレーニング活用についてのー研究
- ② PP 藤原 嘉文 音楽の即興表現を考える (6) ー応用演奏力を育む実践例を中心にー
- II多田 純一 ① PP 鷲野 彰子 同一演奏者による演奏傾向の同一性と非同一性
- ② PP 山口隆太郎 演奏の一回的出来事性に関する理論的考察
ーアルフレッド・シュッツの音楽論と社会理論の応用可能性ー
- Ⅲ光平 有希 ① PP 田中 昌司 イメージ演奏時の脳内ネットワークー補足運動野の機能的ネットワークー
- ② PP 中 磯子 生演奏による鎮静的な曲と活動的な曲の聴取がもたらす心理的効果
- Ⅳ甲斐真里子 ① PP 武本 京子 アクティブ・ラーニングを実践するための「イメージ奏法」を使った ICT 活用授業

4) 会場概要：

大会1ヵ月前に発行予定の『大会要項』に配置図を記載予定。全てのサロンと分科会はA館の中で開かれます。

分科会A：地下 A100

分科会D：3階 A301

分科会G：3階 A304

分科会B：1-2階 A100

分科会E：3階 A302

分科会C：2-3階 A200

分科会F：3階 A303

5) 宿泊：池袋近辺には各種のホテルがあります。目白駅近辺も徒歩圏内です。お早めに各自でご予約下

さい。

6) 参加費：「参加申込書」に記載。

7) 懇親会：17日(土) 19:00～21:00 於：A館1F 学生食堂 学会員以外の方もどうぞご参加下さい。

8) 参加申込：以下の書式の該当項目に(✓)をご記入ください。

学会員以外の方は、一般(大学院生を含む)か学部生の別を該当項目に✓してお示しください。
参加費を大会参加用郵便払込取扱票で払い込んで該当欄に✓してください。

- ・参加費の払込：必ず郵便振替をお願いします。「大会参加用郵便払込取扱票」をお使い下さい。
振込領収書は念のため当日ご持参下さい。
事務局に参加をお申し込み下さい。郵便振込票を送ります。
- ・18日の昼食：学生食堂は当日閉店です。駅周辺にはコンビニや飲食店があります。
お茶付きお弁当(1,000円)を希望される方は、参加と共に申し込み下さい。
- ・申込書宛先：記入事項をご確認の上、学会事務局までメールでお送り下さい。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

・参加申込〆切：6月10日(土) 厳守。

郵便払込取扱票が財務局に届くのには時間がかかります。

混乱を避けるために必ず参加申込期限までにご送金下さい。

第15回(クロッシング)大会参加申込書

必要事項をご記入下さい。該当する□に✓を付けて下さい。

ご氏名：_____

連絡先：〒_____

E-mail _____

緊急連絡：(携帯電話等) _____

参加費：□ 学会員 5,000円
□ 当日会員 1日につき 3,000円 参加希望日 () 17日 () 18日
□ 学部学生 1日につき 2,000円 参加希望日 () 17日 () 18日

懇親会費：□ 5,000円

18日(日)の弁当(お茶付) □ 1,000円

合計： _____ 円

送金先：『大会参加用郵便払込取扱票』 ゆうちょ銀行 01370-6-78225 日本音楽表現学会

□ 振込済 (月 日)

9) 総会委任状：

2017年度(クロッシング)総会にご欠席の方は必ず委任状をご提出下さい。メールアドレスを
押印に代えさせていただきます。

2017年度総会委任状

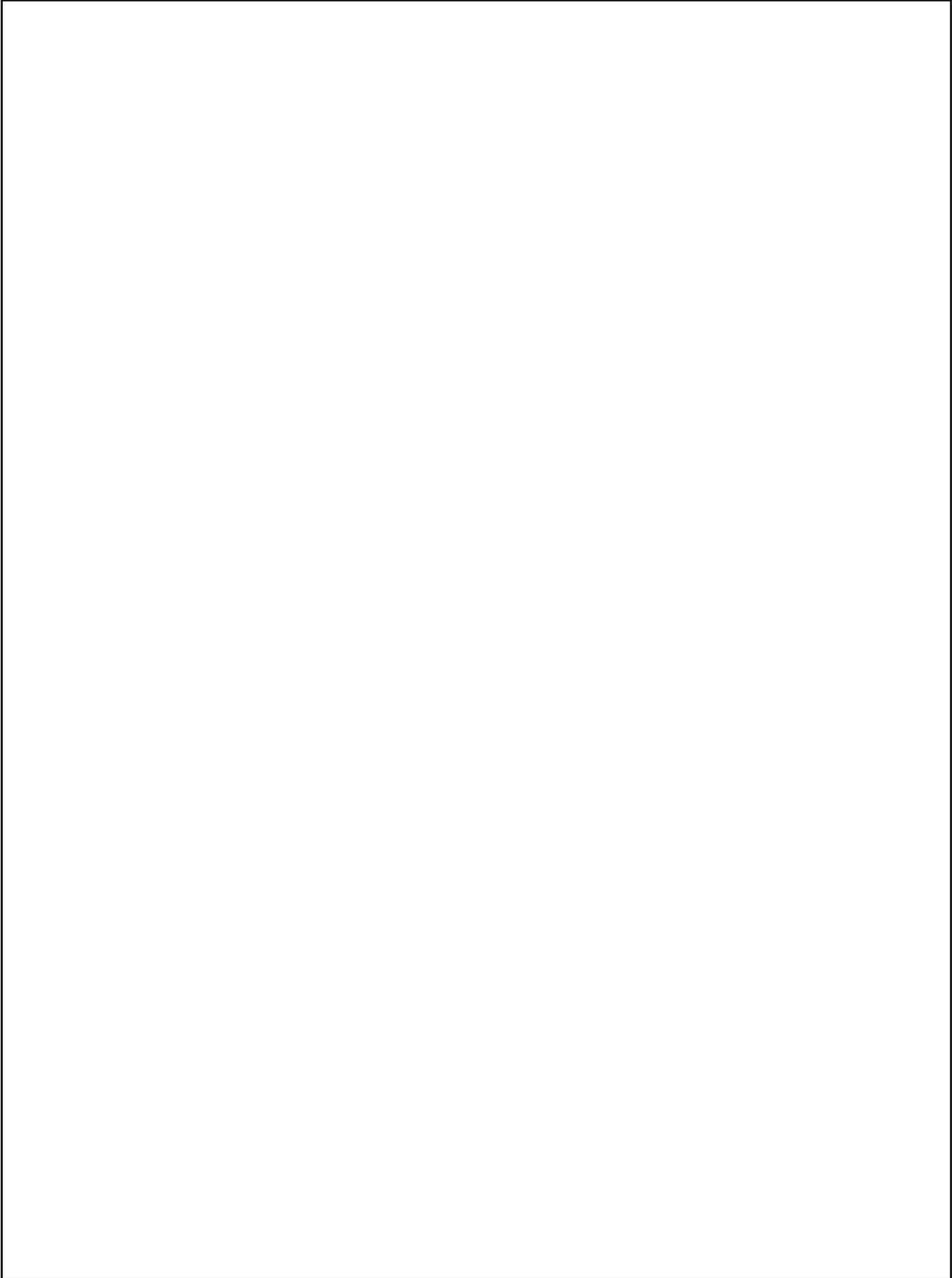
総会に欠席いたしますので議事については
議長に一任します。

ご氏名：_____

年月日：_____

新入会員紹介

個人情報につき、削除しています。



日本音楽表現学会後援コンサート等情報

- 安藤政輝さん **安藤政輝リサイタル 宮城道雄全作品連続演奏会 17**
日 時：2017年4月25(火)開演：19:00 / 開場：18:30 / 終演予定：20:45
会 場：紀尾井小ホール
料 金：前売：4,500円 / 当日売：5,000円
内 容：宮城道雄の全作品を、社会背景を考察しながら時代を追って演奏していくシリーズの17回目。昭和15年～16年を中心に。
出 演 者：安藤政輝、安藤珠希、他
主な曲目：《夢殿》《希望の朝》《銃後の女性》《数え歌変奏曲》
- 木村貴紀さん **旭川フィル名曲コンサート**
「ロシア革命から100年 革命に翻弄された2人の作曲家」
日 時：2017年5月14日(日) 午後3時開演
会 場：旭川市民文化会館 大ホール
料 金：1,000円
後 援：旭川市教育委員会、北海道新聞旭川支社 他(以上、後援)
出 演 者：土門裕之(指揮)、木村貴紀(ピアノ)、旭川フィルハーモニー管弦楽団
主な曲目：ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番、ショスタコーヴィチ：祝典序曲、交響曲第5番より、他

野崎博子さん
堀 馨介さん
安田 香さん

第56回「おとの会」コンサート ～六月の風が運んだ恋文は～

日 時：2017年6月3日（土）開場 13:00 開演 13:30

会 場：HITOMI ホール（名古屋市／JR・地下鉄「千種」駅より5分、052-935-0918）

料 金：無料

主 旨：年2回の研究会を重ね四半世紀余り活動を継続してきた研究団体の公開演奏会

出演者：野崎博子、堀 馨介、安田 香、他

主な曲目：カプースチン「変奏曲」Op.41、堀 馨介「Émotions cachées」、スクリヤービン
「ピアノソナタ第10番 Op.70」、ドビュッシー『練習曲集』より等

連絡先：「おとの会」052-841-8571

奥村治さん

「アルペジオーネの世界」 レクチャーコンサート

日 時：2017年8月12日（土）PM14 開演

会 場：文京シビック小ホール（東京都文京区春日1-16-21）

料 金：3,000円

主 催：アルペジオーネ・ソサエティー

出 演：奥村治

曲 目：シューベルトの小品より、アルペジオーネソナタ D821 1楽章イントロ、野ばら。他

趣 旨：アルペジオーネの復元楽器による世界初の試みとなるレクチャーコンサート

荒川恵子さん

第6回アジア・太平洋音楽認知科学協会国際大会 <http://apscom2017.org/>

(The 6th Conference of the Asia-Pacific Society for the Cognitive Sciences of Music : APSCOM2017)

期 日：2017年8月25日（金）—27日（日）

会 場：京都女子大学（主）、京都国立博物館平成知新ホール（副）

参加料：学生予約 15,000円 一般予約 30,000円

ホ ス ト：日本音楽知覚認知学会

趣 旨：アジア・オセアニア地域における音楽知覚認知領域の研究の国際的水準向上

基調講演・レクチャーコンサート：安藤政輝、奥忍、豊田典子、安藤珠希

上原 由記音さん

フェデリック・モンポウ没後30年記念上原由記音ピアノリサイタル

「モンポウ・沈黙の音楽」

日 時：2017年10月18日（水）19時

会 場：東京文化会館小ホール

料 金：前売（学生 2,500円 一般 3,500円）当日売（学生 3,000円 一般 4,000円）

主な内容：モンポウ作曲「内密な印象」「歌と踊り」「前奏曲」「風景」「沈黙の音楽4集」

趣 旨：本年没後30年の作曲家フェデリック・モンポウの主要作品を紹介する。

主 催：コンセール・プルミエ

後 援：スペイン大使館、日本スペインピアノ学会

会員による CD リリース

安藤 政輝さん

安藤政輝 宮城道雄を弾く 6 宮城道雄童曲集 1

内 容：楽譜『宮城道雄童曲集1』『宮城道雄童曲集2』『宮城道雄童曲集3』に対応して、
所収された23曲と全曲のカラオケを収録

演 奏：安藤政輝、安藤珠希、他。

発 売：VZCG-801 公益財団法人 日本伝統文化振興財団 2015 年 1 月 27 日
定 価：3,000 円＋消費税
購 入：Amazon などのネットショップで購入可。メール申込 kouraku@kisoukai.org
(甲楽出版)

会員による新刊

- 友永和恵さん 音楽が育む心と言葉～宇宙の鼓動と風のように～
発行年月日：2016 年 3 月 15 日
出 版 社：文芸社
定 価：1,296 円 (本体 1,200 円)
ISBN コード：978-4-286-14813-7
- 安藤 政輝さん 『宮城道雄童曲集 1』 [ISBN978-4-908919-13-8]
発行年月：2016 年 6 月
概 要：作曲者・宮城道雄の没後 60 年、作詞者・葛原しげるの生誕 130 年を記念して発刊。大人が箏で伴奏し子どもが歌うための楽譜で、全曲五線譜付き
発 売 元：甲楽出版
定 価：864 円 (800 円)
- 安藤 政輝さん 『宮城道雄童曲集 2』 [ISBN 978-4-908919-14-5]
発行年月：2016 年 12 月
収 録 曲：《いろはかるた》《とび》《白兔》《冬田の案山子》《チュンチュン雀》《おさるのお顔》《首ふり鼻ふり》《鼻黒鼻白小僧さん》《豊年満作御代万歳》
発 売 元：甲楽出版
定 価：1,296 円 (本体 1,200 円)
- 安藤 政輝さん 『宮城道雄童曲集 3』 [ISBN 978-4-908919-15-2]
発行年月：2016 年 12 月
収 録 曲：《葉げいとろ》《裏の木戸》《金の鯨》《夜の大工さん》の 4 曲所収。
発 売 元：甲楽出版
定 価：864 円 (本体 800 円)
- 舟橋 三十子さん フォルマシオン・ミュージカル 『名曲で学ぶ音大入試の楽典』
[ISBN 9784276100558]
発行年月日：2017 年 3 月 10 日
出 版 社：音楽之友社
判型・頁数：B5・120 頁
定 価：1,944 円 (本体 1,800 円)
- 後藤 丹さん 全音ピアノライブラリー
サン・サーンス 動物の謝肉祭 (ピアノ連弾編曲、ナレーション台本付き)
[ISBN978-4-11-160262-9]
発行年月：2017 年 3 月
出 版 社：全音楽譜出版社
定 価：1,836 円 (本体 1,700 円)

『音楽表現学』 Vol.15 原稿募集

〆切は 2017 年 5 月 15 日です。

『音楽表現学』 Vol.15 の投稿〆切は NL 2016-No.2 でお知らせしたとおり、
例年よりも約 2 週間早まっています。

投稿資格：投稿者および共同執筆者は、「その年度の年会費を納入した会員に限る。」（投稿規定 3）

執筆要領・投稿方法：『音楽表現学』 Vol.14 の巻末、または学会 HP の「投稿規程」をご覧ください。

投稿書式：投稿時点では 2 段組でなく、1 段組でご応募ください。

引用文献の記載方法：HP に例示しています。

執筆方法：本学会発行『2015 年版研究論文執筆のしおり』を参考にされることをお勧めします。

* 投稿する前に、ご自分が上記「投稿資格」に該当することをご確認ください。

* 本学会発行『2015 年版研究論文執筆のしおり』を座右にご執筆ください。執筆者の意図が読み手に伝わるかどうか、投稿前に周りの知人に一度読んでもらうことをお勧めします。

* 応募原稿が論文及び学術誌の原著性を損ない、論文の著作権の帰属に関する問題や研究実績の不当な水増しにもつながり得る「研究者倫理に反する行為」にならないよう注意してください（文部科学省ガイドライン）。

* 投稿に際しては学会 HP に掲載されている「音楽表現学テンプレート」をご使用ください。

* 投稿する前に、投稿予定の原稿が学会 HP の「投稿チェックリスト」に適合していることをご確認下さい。

* 投稿原稿には学会 HP に示された書式の「投稿申込書」を同封してください。

数多くの会員の皆さまが日頃、演奏をはじめとして様々な音楽表現に関する活動をしておられます。またそのために大いに研鑽を積んでおられることでしょう。その研鑽の記録、演奏表現の比較、演奏表現の問題点などを文章にしてみたいかがでしよう。会員の皆さまの活動が論文の形でも残されるならば、本学会の存在がますます重みを増すものになると考えます。数多くの会員の皆さまが応募されることを願ってやみません。

「第 14 回（平成 29 年度）日本学術振興会賞」の推薦について

日本学術振興会から平成 29 年度「日本学術振興会賞」の候補者推薦の依頼が届いています。以下の 3 つの条件に合致する会員は学会から推薦を検討しますので、事務局までお申し出下さい。

1) 対象者の条件・45 歳未満。

・博士の学位を取得もしくは同等以上。

・日本国籍を有する者もしくは日本で 5 年以上研究している外国人

☆日本音楽表現学会機関誌『音楽表現学』に論文が掲載されていること。

2) 申し出の〆切 2017 年 4 月 7 日（金）

申し出のあった会員の中から本学会として推薦するにふさわしいと思われる方を 1 名選出します。候補者として選ばれた方は振興会賞の受付期間（4 月 12 日（水））までに書類を準備、必着で学術振興会に書類を送ることになります。ご質問等がありましたらご遠慮なく事務局 music-expression@music-expression.sakura.ne.jp までご連絡下さい。 (理事会)

事務局からの重要なお願い

1) 年会費の納入について

- ・学会のすべての活動は皆様方の年会費で運営されています。機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたすことのないよう、速やかな納入をお願いいたします。なお、会則第8条(2)にもとづき、会費を連続3年間未納の会員は「除名」となりますのでご注意ください。
- ・年会費については『音楽表現学』巻末に「経費関係細則」が掲載されています。なお、学生会員は、学部生に限られます(会則第5条)。
- ・みなさまに年会費納入ご協力をお願いします。

2016年度会費納入用払込取扱票を同封します。また2016年度およびそれまでの年度会費が未納の会員には、未納分も払込取扱票に記しています。事務局から郵送する払込取扱票をなくされた方には郵便局で備え付けの「払込取扱票」に未納年度分を明記の上、送金していただくことになります。

- ・納入は必ず払込取扱票で入金してください。電信扱による入金は内容が不明になり、混乱の原因となります。ご協力を是非お願いいたします。

振込先：郵便振込口座 01370=6=78225 日本音楽表現学会

- ・無意識滞納対策の一助として、納入後はただちに、払込取扱票右側の「振替払込請求書兼受領証」(ATMご利用の場合は「ご利用明細票」)に、納入年度のメモを記載の上、保存されることをお勧めいたします。なお、学会では原則として改めでの領収書発行はしておりません。

今回は2種の払込票を同封しています。

「年会費払込票」は2017年度会費と2016年度会費までの会費未納者のための払込票です。

「大会参加費払込票」は大会参加の費用です。

入金処理作業の混乱を避けるために、払込票の別についてご協力をお願いします。

2) 住所・所属・電話番号・メールアドレスの変更は速やかにお届け下さい！

事務局からさまざまなお知らせをメール配信していますが、リターン・メールが常に何通かあります。また、機関誌『音楽表現学』等のクロネコDM便が「転居先不明」で返送されてきます。今回の選挙文書に関しても返送がありました。事務局では返送分について宛名の方のメールアドレスを調べて新連絡先を尋ねて再送しています。しかし、メールアドレスも電話も不明な場合には為すすべがありません。郵便局の転送届けは宅配業者や学会には届きません。メールアドレス、連絡先住所、所属等の変更は必ず事務局までお知らせくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

住所変更届出フォーム <http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

3) 入会手続きには2～3週間かかります。

入会手続きが完了しないと会員としての活動をしていただくことはできません。発表や投稿ご希望の方は入会手続きをゆとりを持ってお進めください。

4) 学会発表や原稿応募には学会員資格とその年度の年会費納入が必須条件です。

この点をご確認の上、発表申込みや原稿応募手続きにお進みください。

事務局からのお知らせ

1) ニュースレターへの投稿について

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。

- ・ 研究ノート、随想など：図表を含めて刷り上がり 1 頁以内
- ・ コンサート案内：学会後援・協賛のものを掲載します。
- ・ 新刊案内・CD/DVD リリース：会員による刊行物等の紹介を行います。購入方法なども含めてお知らせください。
- ・ その他：所属されている他学会の情報などもお寄せください。
- ・ 投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

2) 学会の会員サポート制度をご活用下さい。

- ・ 研究発表の場の一つが機関誌『音楽表現学』です。
『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。
- ・ 大会の口頭発表は、これまでの研究を発信し、それを参加者一同と共有する場です。会員自身の音楽表現の創意や工夫、実践を披露し、その妥当性を問うワークショップなど、日本音楽表現学会ならではの生の音楽表現を含めた発表の機会をご利用下さい。
- ・ コンサートの後援・協賛のご案内：会員による各種演奏、ワークショップ、イベントなどの活動を学会は「後援または協賛」します。本学会ホームページのリンクから、〔コンサート等後援/協賛申請フォーム〕にて申請してください。

3) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法について

バックナンバーをご希望の方はメール等で事務局までお申し込みください。代金は到着後『音楽表現学』に同封の払込取扱票をお願いします。

会員価格：Vol.2～Vol.3 は 1 部 1,500 円＋送料

Vol.4～Vol.14 は 1 部 3,000 円＋送料

一般価格：Vol.2～Vol.3 は 1 部 3,000 円＋送料

Vol.4～Vol.14 は 1 部 3,500 円＋送料

大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。なお、Vol.1 は残部がありません。

4) 『音楽表現学のフィールド 2』会員向け特別割引価格について

アマゾンで『フィールド 2』の販売状況を調べると、すでに中古品でプレミアがついて 5,820 円で販売されています。新品は、6,680 円、3,456 円、3,123 円などです。学会では会員向けに特別割引価格 3,000 円（税・送料込）で頒布しています。是非ご購入ください。事務局宛にお申し込みいただくと、書籍に払込取扱票を同封してお届けします。お申し込みをお待ちしています。

5) 入会の手続きについて

- ① 次頁の「入会申込書」を事務局にメールで事務局 music-expression@music-expression.sakura.ne.jp までお送り下さい。書式は HP からダウンロードできます。
- ② 「入会申込書」を送付いただきましたら、事務局では受信のお知らせと同時に年会費の払込取扱票を送ります。手元に届きましたら、速やかに年会費をお納めください。
- ③ 財務局では会費の納入を確認して事務局に連絡します。

- ④ 事務局では会費納入の確認後、正式に理事会への入会承認手続きへと進めます。
- ・ 会員としてご活躍いただけますのは、入会承認書がお手元に届いてからになります。
 - ・ 入会は余裕を持ってお手続きください。
 - ・ 学会からの連絡（印刷物等の送付）はお届けいただいた「連絡先」に届きます。
 - ・ お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

| | |
|-----------------------|-------|
| 入 会 申 込 書 | |
| 日本音楽表現学会に入会を申し込みます。 | |
| | 年 月 日 |
| 氏 名 (ふりがな) : | |
| 専門分野 : | |
| 所 属 : | |
| 自宅住所 : 〒 | |
| 連絡先 : (上記と異なる場合) 〒 | |
| 連絡先 Tel. : | |
| e-mail : | |
| 推薦者名 (学会員・1名) | |
| 音楽表現学会に期待されること。ご意見等 : | |

- 6) 「後援願」書式 学会 URL 「コンサート・出版物等、後援・協賛申請フォーム」からお申し込みください。

| | |
|---|-------|
| コンサート等後援願 | |
| 以下の催しの後援をお願いいたします。 | |
| | 年 月 日 |
| 会員氏名 : | |
| 演奏会等タイトル : | |
| 開催年月日・開演時間 : | |
| 会場 : | |
| 料金 : | |
| 出演者 : (原則として学会員氏名のみ掲載します。) | |
| 主な曲目 : | |
| 以上の項目それぞれ1行で、39字以内を原則とする。 | |
| 問合せ先: 会場またはマネジメントの電話番号 (個人の電話番号・メールアドレスはセキュリティ上掲載しません。) | |

7) 退会を希望される時の手続きについて

退会には以下の3点が必要です。

- ① 「退会願」をHP掲載のフォームで事務局に提出
- ② その年度までの年会費完納
- ③ 理事会の承認

「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第8条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

日本音楽表現学会第15回（クロッシング）大会のご案内

会 場：東京音楽大学
 （東京都豊島区南池袋3-4-5）
 会 期：2017年6月17日（土）—18日（日）
 実行委員長：岡田敦子東京音楽大学教授（ピアノ）
 大会の愛称：クロッシング



A館100周年記念ホール

クロッシング：人・もの・線・道・川などが互いに交わること、交わる場所を意味します。池袋の地でどんな人々と、どんな音楽・音楽表現についての思索が交錯するのでしょうか。みなさまとの出会いを楽しみにしています。

東京音楽大学へのアクセス

JR「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分
 西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分
 地下鉄丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分
 副都心線「雑司が谷駅」1番出口より徒歩約5分

2016年度役員・委員等一覧

| | | |
|---|---|---|
| 会 長：後藤 丹 副 会 長：小西 潤子 加藤富美子 事務局 長：豊田 典子 財務局 長：應和 恵子 理 事：木下 千代（事務局担当） 海津 幸子（財務局担当） 藤原 嘉文（総務担当） 安藤 珠希（総務担当） 編集委員会： 委員長 中村 隆夫 副委員長 吉永 誠吾 委員 尾見 敦子 上山 典子 齊藤 武 澤田まゆみ 志民 一成 曾田 裕司 | 『フィールド』編集委員会： 委員長 小野 亮祐 副委員長 安田 香 同 菅 道子 委員 奥 忍 北山 敦康 小西 潤子 杉江 淑子 三島 郁 著作権ワーキング： 代表 権藤 敦子 委員 近藤 晶子 中村 滋延 福本 康之 | 選挙管理委員会： 委員長 鈴木慎一郎 委員 笹野恵理子 西野 晴香 監事： 渡会 純一 小畑 郁男 会長諮問会議：安藤 政輝 佐々木正利 杉江 淑子 安田 香 デザイン室長：奥 忍 参事：（事務局）似内裕美子 林 萌 近藤 晶子 |
|---|---|---|

編 集 後 記

春の到来です。目下桜前線が北上を続けている最中。皆さんのお住まいの辺りはどんな様子でしょうか？ニュースレター2016年度No.3をお届けします。今号は第15回大会の記事がメインです。
 沖縄、北海道と日本列島を端から端へとリレーしてきた大会も、今回、学会初の東京開催となります。東京音楽大学の皆さん、お世話になります。愛称のクロッシングは「人・もの・線・道・川などが互いに交わること、交わる場所」を意味するとのこと。池

袋は正に相応しい場所です。会員同士の交わり、音楽の交わり、思考の交わり等が幾重にも交錯して素晴らしい音楽表現の輪が広がることが期待されます。東京音大ならではのレクチャーコンサート、学会企画「音楽表現における伝統と継承」やサロン。分科会も多彩でユニークなテーマが並び目移りしそうです。どうか奮ってご参加下さい。では、池袋でお会いしましょう。

（藤原 嘉文）